

1. 城郭のどの部分か？

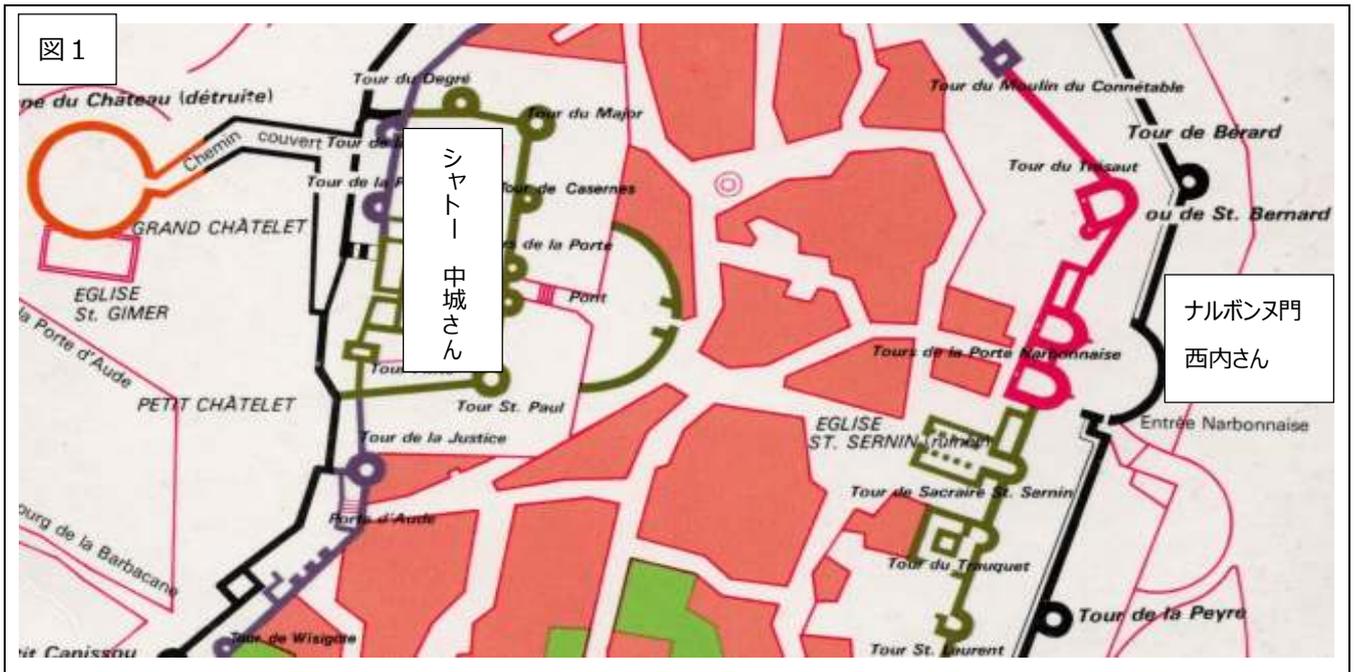
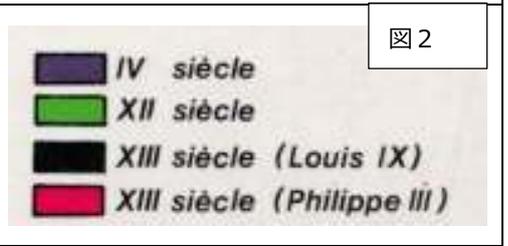


図1は、昨日投稿した、「フランス城郭シリーズ 番外編 その2 カルカソンヌの歴史概要」に図2として添付した、日本語ガイドブック「カルカソンヌ」の図の馬出しの二か所を切り出したものです。

図2は、図1の各色の時代（世紀）を表します。この世紀が間違っていると思うので、昨日の投稿を取り下げます。



2. ナルボンヌ門

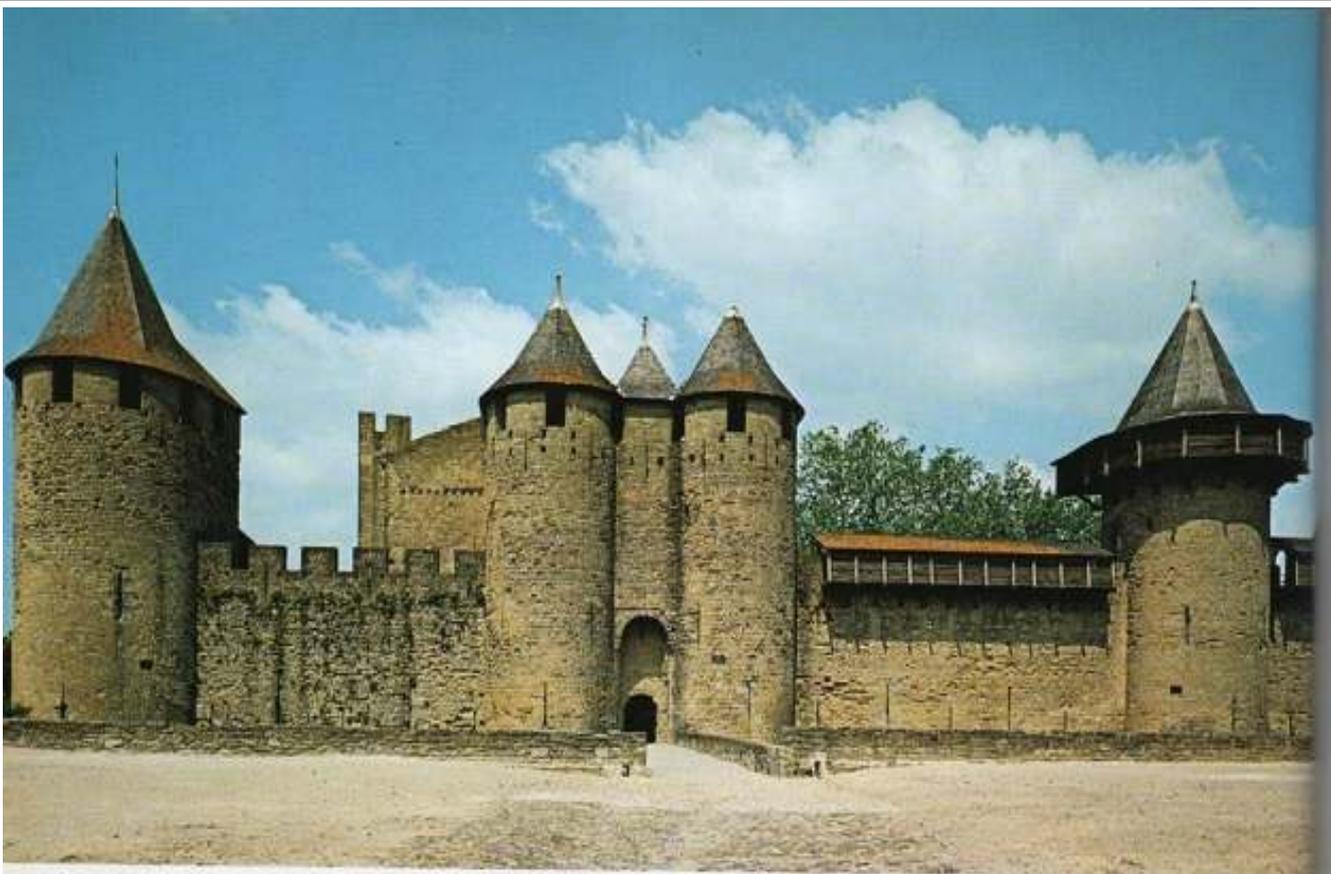
馬出しは、内部の兵士・馬が外部へ安全に出る、外部から攻撃してくる敵を城内に入れたい、などの目的と理解していたから、場所としては、ここしかないと思って納得しました。しかし、図2の色分けでは、城壁は13世紀のルイ9世となっており、馬出し部は当時は無くて、近代に取り付けたように見えます。

3. シャトーとその外側の半円形は馬出しに見えるが、全部が城郭内にあるし、へんですね～？と思いました。2000年に家内と行った時に城郭内のイギリス系ホテルから徒歩1～2分だったので、早朝から散歩で半円形の所のベンチからシャトーを眺めました。家内はいつもスケッチブックを持参してスケッチするので、私は一人で当時のアナログ・ビデオを撮り、デジカメが無かったので、写真はありません。

これは、家内のアルバムの中からコピーしましたが、左がシャトーで、右が半円形広場、正面が渡り橋です。



中城さんからいた2の写真は、日本語ガイドブック全ページの「城」という目にしてされています。
 ください。城郭の中に外があるのは、中にあるのな外敵から城入りをするために、
 ルイの下でかれた。ガッテン納得これを、Pに投稿するのは、にはいが、作違



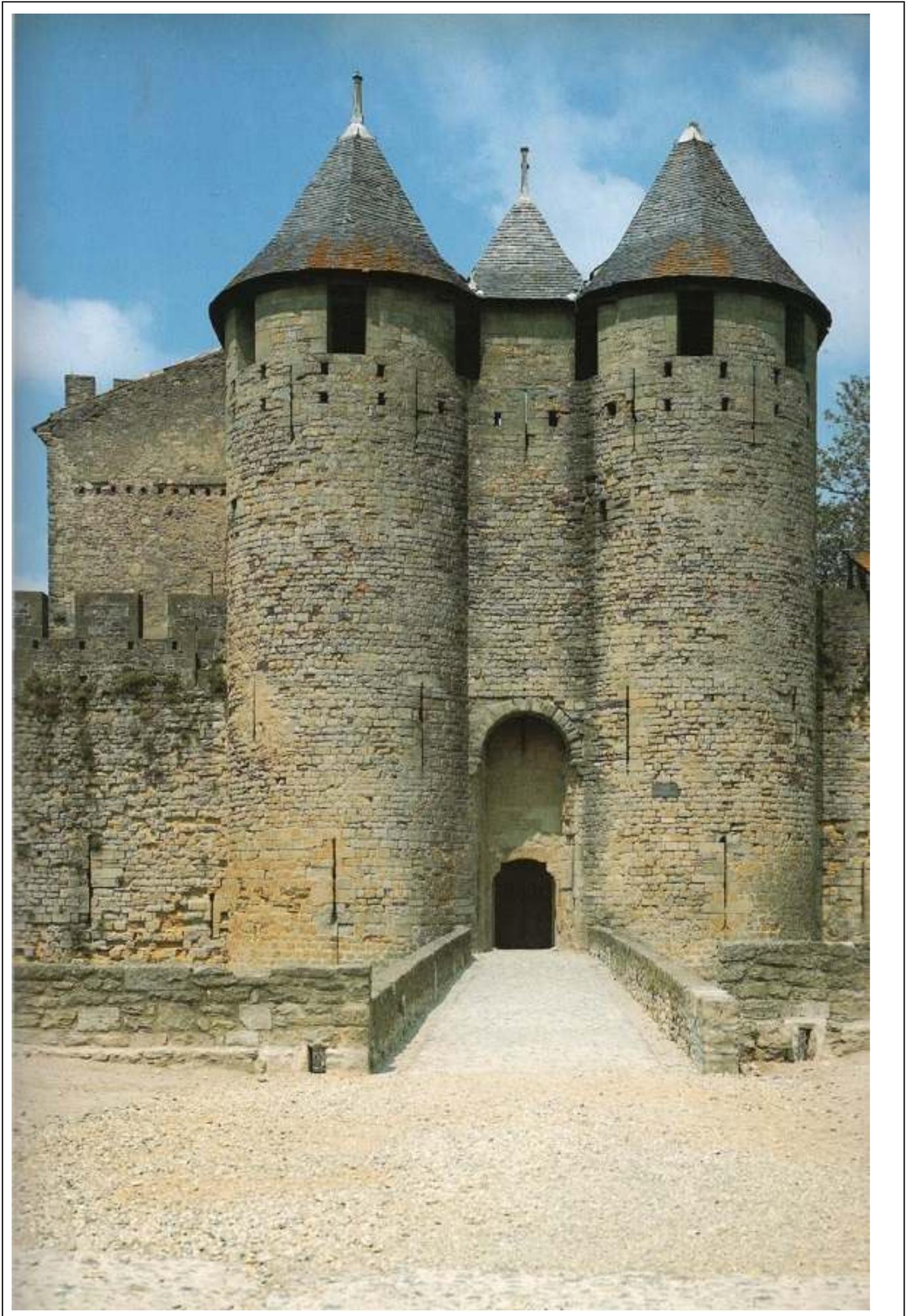
市街地から見る城の東正面

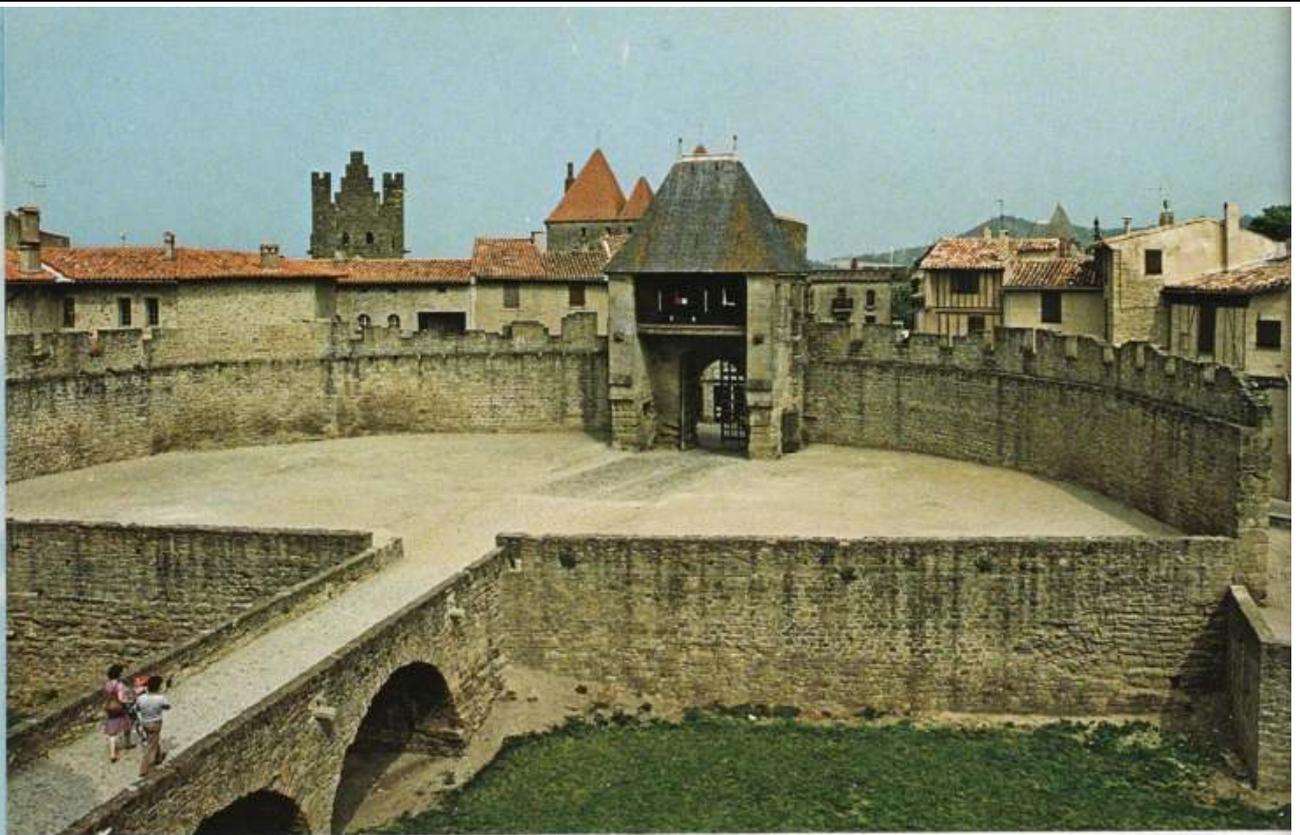
2つの塔のある城入り口 ▶

城

ヴィオレ・ル・デュクが1130年前後に築城を推定する城塞内の「城」は、ベルナール・アトーン・トランカヴェルか息子のロージャール・トランカヴェルが築城した。トランカヴェル3世が築城した。トランカヴェル3世が築城した。トランカヴェル3世が築城した。ここに居を構え、1209年にレイモン・ロージャール・トランカヴェルは囚人の身のままここで死んだ。城はその後シモン・ド・モンフォール領となり、王政期には王の直接代理人である総督が王領の管理に当たった。更に長い間感化院になっていた。
 19世紀になって城は兵營に当てられ、第一次世界大戦では約300人のドイツ人將校捕虜を收容した。1944年3月に城塞にドイツ軍本營が置かれると市民は私邸を軍に明け渡す

うに強いられ同年8月20日にドイツから解放されこの中世の堅固な構えで、完全な北南の三方を囲んで、完なる中置の塔は4階に丸天井が並んでいる。この壁の耐久力がある。この建築の傑作であり、16世紀末まで完全に備わっている。この城に全





写真上、町の中にある城の外壁

写真下、城の西側。建物の2階に碑銘博物館がある



図と の時代 分はどれが正しいか

当 の 2と 1の間の一 の 図は正しい。しかし、 イズの投稿には 人には いらい。

日本語ガイドは、写真と

の日本語 は正しそうだ？ 図と時代 分はでたらめ、日本語ガイドなのに

図はフランス語であり、チ ックしていない。下の、 語 は は 語で図面はフランス語だが正しい。写真も 内 も日本語 と 。全 ージ

良い勉強に
なりました。
ここに文字

